

スターチス品種育成の取組

1. はじめに

当センターでは、1999年からスターチスの県オリジナル品種の育成に取り組んでおり、昨年6月に品種登録出願公表された‘紀州ファインライラック’、‘紀州ファインオーシャン’を含め、これまでに紀州ファインシリーズとして12品種を育成しました（表1）。

そこで、品種育成の取組について紹介したいと思います。

2. オリジナル品種の育成

オリジナル品種として最初に育成されたのは萎凋細菌病に強い‘紀州ファインイエロー’と‘紀州ファインホワイト’でした。‘紀州ファインパール’は‘紀州ファインイエロー’の突然変異体から選抜され品種登録されました。この3品種はスターチスの主要花色(紫、ピンク、ブルー、黄、白)のなかでは比較的需要の少ない白と黄色の品種でしたので、生産現場からは需要の多い紫系品種の育成が望まれ‘紀州ファインバイオレット’と‘紀州ファイングレープ’および赤紫色の‘紀州ファインルビー’が育成されました。次いで、ブルー系品種として‘紀州ファインラベンダー’および切り花長の長い‘紀州ファインブルー’、ピンク系品種として‘紀州ファインピンク’が育成され、オリジナル品種で主要な花色が栽培可能となりました。

また、スターチスの栽培環境は2004年頃からの原油価格高騰により、生産コスト削減のため無加温に近い栽培へと変化し、低温管理下での収量性が高い品種の育成に取り組むこととなりました。そして、紫系品種の‘紀州ファインパープル’、ブルー系品種の‘紀州ファインライラック’と‘紀州ファインオーシャン’が育成されました。

表1 農業試験場暖地園芸センター育成品種

	品種名称	花色(がく色)※	登録年月日
1	紀州ファインイエロー	黄	2008.3.17
2	紀州ファインホワイト	白	2008.3.17
3	紀州ファインパール	白	2010.3.18
4	紀州ファインルビー	赤紫	2010.3.18
5	紀州ファインバイオレット	紫	2012.4.04
6	紀州ファイングレープ	紫	2012.4.04
7	紀州ファインラベンダー	ブルー	2016.3.25
8	紀州ファインピンク	ピンク	2018.7.26
9	紀州ファインブルー	ブルー	2018.7.26
10	紀州ファインパープル	紫	2018.7.26
11	紀州ファインライラック	ブルー	2019.6.17※※
12	紀州ファインオーシャン	ブルー	2019.6.17※※

※和歌山県における便宜上の色分け ※※出願公表日

3. 現在の取組

2019年に被害が多かった萎凋細菌病に強い紫系品種の育成に取り組んでいます。本病に強い‘紀州ファインイエロー’と弱い‘紀州ファインバイオレット’を交雑して得られた約8,000本の苗に萎凋細菌病菌を接種し、生存したものを選抜しています。また、ピンク系品種の育成では、切り花長が長い系統を選抜するとともに、濃いピンクやさくら色等の花色のバリエーションの充実にも取り組んでいます(写真1)。

今後の課題として苗の生産コストの削減のため、クレー育苗施設を必要としない品種の研究も実施する予定です。

県育成品種に興味のある方は、当センターまでお問合せください。

(育種部 岡本 崇)



写真1 ピンク系品種の育成
(ミツバチによる交配)

和歌山県 農業試験場 暖地園芸センターニュース No.52

令和3年1月発行

編集・発行 和歌山県農業試験場暖地園芸センター

〒644-0024 和歌山県御坊市塩屋町南塩屋724

TEL:0738-23-4005 FAX:0738-22-6903

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070100/070109/gaiyou/003/danchiengeicenter/003.html>